これが大塚ファームの有機栽培

北海道キングメルティー会協賛会（牧村頭会長・三菱ケミカルアグリドリーム農業資材部東日本オフィス北海道事務所）の第21回現地研修会が9月11日に北海道石狩郡新篠津村において開催され、㈲大塚ファーム並びにつちから農場㈱の2カ所を見学、終わって札幌市北区東茨戸のシャトレーゼガトーキングダムに移動して検討会が行われた。今回は少量多品目の野菜を生産している大塚ファームの実態を取り上げることにした。

大塚ファームの社長大塚裕樹氏（左）と副社長で妻の早苗さん夫妻

すべてJAS有機栽培
クリーン農業のモデル農家

去年の第46回北海道キングメルティー会総会で大塚ファーム社長の大塚裕樹氏は「大塚ファームの6次産業のなり立ち―生産・加工・販売・輸出でTPPに負けない経営を目指す―」の演題で講演を行い、200名の参加者に感動を与えた。

そこで同会の協賛会では来年の研修にはぜひ見学させてもらいたいのでその節はよろしくと頼んでいたのが実現した。

大塚家は福井県から新篠津村に入植して104年になるという。この間、泥炭地で不毛の地を開拓して優良な農地に作り上げた功績は高く評価されている。現社長の裕樹氏は45歳になるが、18歳で就農した。北海道立農業試験場で2年間研修した後、村が提供する実証ハウスでミニトマトの水耕栽培に携わり、りっぱに成功させた。しかし本人は農薬アレルギーにかかって、たいへんつらい思いをしたようだ。

また、平成7年に無農薬の水耕栽培を成功させたことがきっかけになって、今日の地位にのし上がった人である。

現在は26人の従業員とともに米、麦のほか、野菜ではトマト、大根、サツマイモ、バレイショ、カボチャ、ベビーリーフ、小松菜、ホウレンソウ、ニンジン、空心菜など20種類近い野菜を栽培している。これらはいずれもJAS有機栽培であり、大塚ファームはエコファーマーに認証されている。

大塚社長の活動に対して第43回日本農業賞個別経営の部で大賞を受賞したほか農林水産大臣賞、農家として最高の栄誉ともいえる天皇杯（日本農林漁業生産振興会会長賞）など数々の賞を受賞しており、また新篠津村においては農業委員や青年部の役職をつとめている。

去る9月6日の胆振村を震源とする大地震に関連する会議がこのところ続いており、どうしても抜けられない。キングメルティー会では昨年の総会で講演をさせてもらい、会員の皆さんには大変お世話になった経緯もあるので私が案内しなければいけないのだが、どうしてもそちらに出なくてはならないので、自分と私に命じられましたからと、妻でありまた副社長でもある早苗さんが案内役を引き受けてくれた。

大塚ファームの42棟からなるミニトマトハウス

夏はハウスでミニトマト
春秋はほとんど葉物中心

新篠津村は石狩平野の中心に位置する。日本海型の気候で冬は雪が120㌢くらい積もるところで、ひじょうに寒いところでもある。こういうところで少量多品目の野菜の有機栽培に取り組んでいるのだが、札幌市には比較的に近いところで、農産物の供給基地になっている。

住宅の周辺に広大な水田や畑地があるが、飛び地はほとんどないそうだ。したがって作業効率がよいという。

最初に空心菜の選別場を見せてもらったが、次に案内されたのは24棟のハウスだった。主にミニトマトが入っているが、夏はミニトマトと空心菜主体で、春と秋はその他の野菜が入っているようだ。それについては後にふれることにするが、ハウスは間口6㍍、奥行き75㍍のものが多いが、50㍍と短いものもある。

いずれもパイプは一番細いのを使っている。内部に筋かいをしているから風や雪には耐えるみたいだが、この間の地震で一番端に建っている1棟は潰れていた。

「これは停電が4日間続いたのでサイドの開閉ができなかったんでしょうね。それで発電機を頼んだんですけど、それが間に合わなかったようです。ハウスの換気や冷蔵庫もあるものだから、どうしても発電機は必要だから見積もりを取ったところ、ちょっと高いようなんで頭を痛めているところです」と案内役の副社長は言っていた。

ハウスの換気にはくるくるがついているところも何棟かあったが、ほとんど韓国の友成ハイテク社の自動換気が取り付けてあった。「これはたいへん便利で一度使ったら手回しのものは使えません。温度計がついており、25度より上がったら15秒間まき上げ、それより下がったら下がるようになっているんです。雨センサーも着いていて、雨が降りそうなときは自動的に閉まり、また、晴れたら開くようになっているんです。

ハウスの中はほとんどミニトマトが入っていて、8種類が入っており、一番多いのは赤系の千果が入っており、色は赤・黄・橙・緑などである。

ハウスの天井から紐でトマトを吊っているでしょう。この地帯は風でハウスがゆれると、その糸を伝わってトマトもゆれるので自然に受粉ができるようにしているんです」

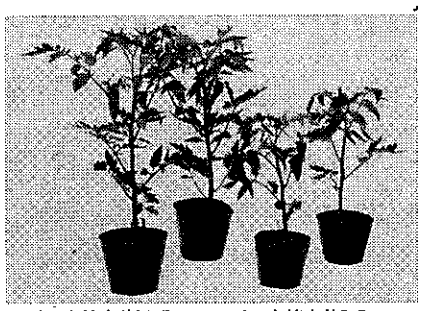
つまりこれは自然交配のようだ。「私共はエコファーマーに認証されていますからハウスの消毒には農薬も除草剤も使っていません。ですからハウスは開けていません。南側にはネットを張っていますし、除草も手で行うようにしています。また、ハウスの外にはミントを植えていて、虫はその香りの方へ行ってハウスには入らないようにしている場所も設けています」とのこと。

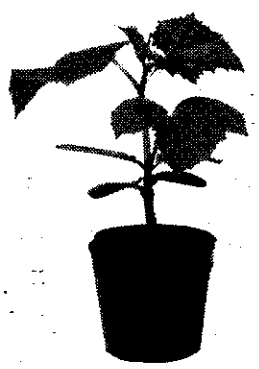
（3面に続く）

㈱村田農場の「野菜苗」

培土から育苗まで一貫生産。一年を通じ強健な苗を注文にてお届け致します。

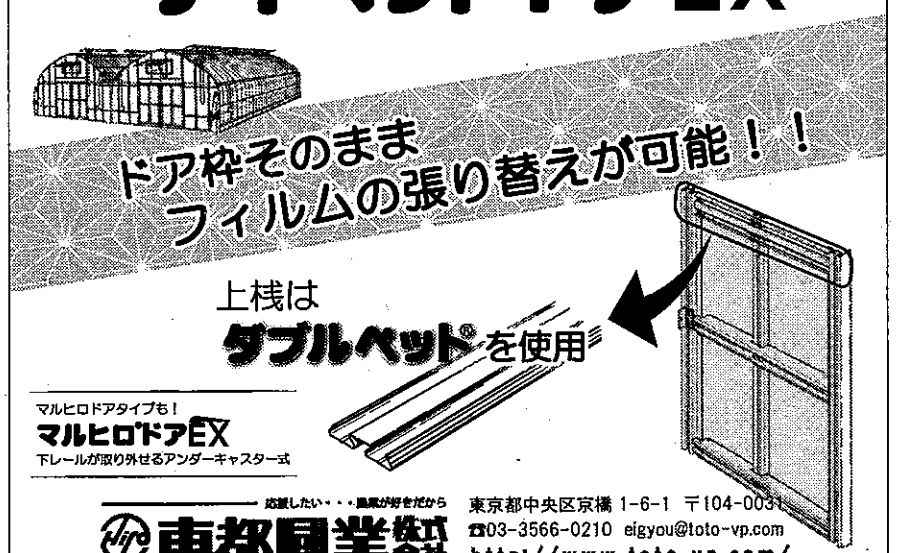
品種（穂木・台木）・定植日をご指定いただければナス類、ウリ類の接木特許を持つ当農場で育てた優れた苗をお届けいたします。


トマト接木苗10.5cm　トマト接木苗9.0cm


キュウリ苗

㈱村田農場
〒791-0214 愛媛県東温市南野田742
苗関係のお問い合わせは TEL 089(964)7878 FAX 089(964)0406

パイプハウス専用 ドア部材
テイペット®ドアEX



マルヒロドアタイプも！
マルヒロドアEX
下レールが取り外せるアンダーキャスター式

応援したい・・・温泉が好きだから
東都興業株式会社
東京都中央区京橋 1-6-1 〒104-0031
☎03-3566-0210 eigyou@toto-vp.com
http://www.toto-vp.com/